



第59回在宅チーム医療栄養管理研究会

勉強会記録

■ 日時 平成22年7月10日（日）13：45～16：40

■ 場所 社会福祉法人 浴風会 本館 1F

■ 内容 配布の議事案参照

13：45～13：55 市原代表 挨拶

13：55～14：10 商品説明 味の素ニュートリション(株) ヘルシーフード(株)

14：10～15：10 グループワーク（症例検討）

① 症例：A 入所の糖尿病患者への取り組み

1グループ：間食を選べる環境・このまま続いてしまうリスクの危険

2グループ：ディサービスの間食はどうか・0kcalデザートでも家に帰った時、甘い味が忘れられないため間食を取る習慣できてしまう

3グループ：生活全体に関わる視点でみる・情報共有の必要性、施設での間食提供状況の把握

① 症例：B 入所の摂食嚥下困難者への取り組み

1グループ：嚥下評価と家族への説明、嚥下状態が悪く食形態の見直しが必要・家族と情報の共有が必要

2グループ：食形態の見直し・口腔訓練

3グループ：施設側の家族、Drとの連携・栄養士、リハビリ、歯科との連携

15：10～15：20 休憩

15：20～16：40 講演

演題：関わりのもたらすもの～リハビリテーションの実践から

東関東リハビリテーション病院 リハビリテーション科部長

医師 稲川 利光先生

グループワーク（症例検討）



特別講演：稲川利光先生



<講演内容>

医師になる前は、理学療法士だった経験を活かし、実際に行ったお父様への介護経験から生み出したリハビリ法やアイデア一杯のリハビリ法など病院での工夫やいろいろな経験話をして頂きました。患者様の写真で構成された発表資料は、一人一人の事を考えきめの細かいものでした。

担当：三瓶、松元 阪井（議事録）